



# イスラエル パレスチナの 現在・過去・未来

聖書に記された絶望と希望

# アウトライン

- I. イスラエル・パレスチナの現在
- II. イスラエル・パレスチナの過去
- III. イスラエル・パレスチナの未来と  
私たちの希望





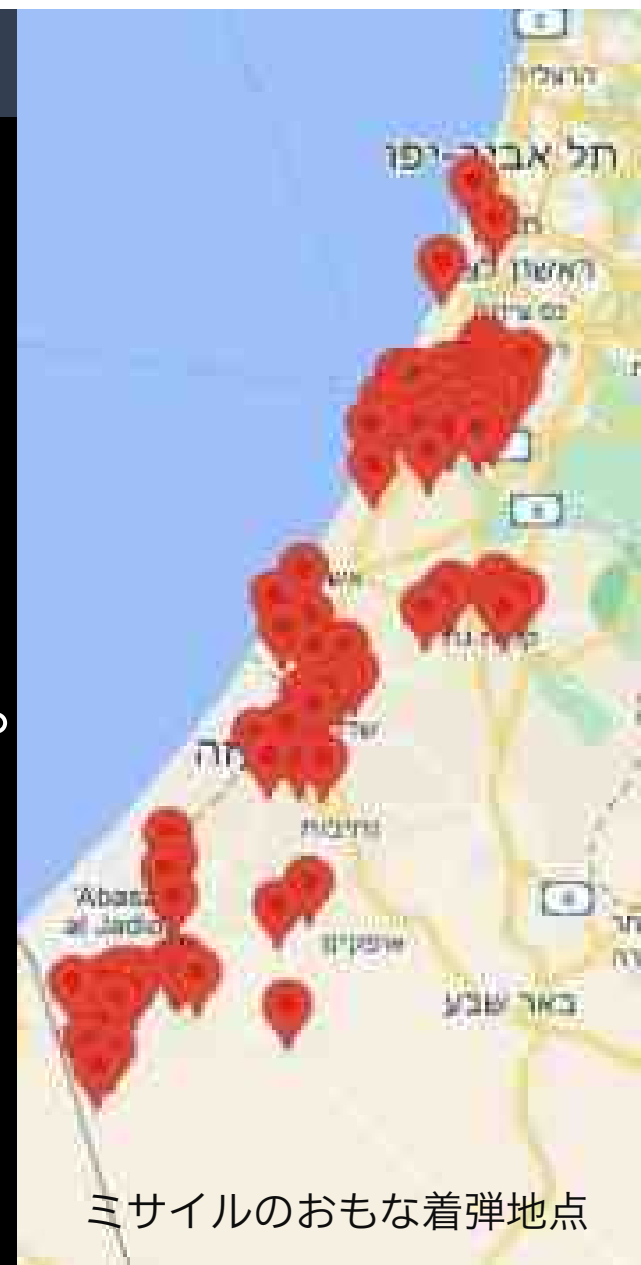
# 1. イスラエルとパレスチナの現在

## ハマスによる大規模テロ

- 現地時間10月7日午前6時半～  
数千発のロケット弾を無差別に発射。
- 千数百人の戦闘員が、一般住民を襲撃、虐殺。  
→ 被害者は、赤ん坊…、若者、高齢者まで。  
ユダヤ人、アラブ人、外国人も。

身元の判明した死者は、1,300名(10/13現在)  
一日の被害者としては、イスラエル史上最悪。

- 150名がガザに拉致。…赤ん坊や高齢者も



# 三大一神教の違いと共通点

ミシュナ  
(律法解釈)

+

タナハ  
(旧約聖書)

ユダヤ教

新約聖書

+

旧約聖書

キリスト教

=

≠

スンニ派

ハディース  
(伝承)

+

シーア派

イマーム  
(血脈)

+

コーラン

イスラム教

## ハマスとは？

- 最初は、イスラムの復興運動  
→ 腐敗する既存の組織。民衆を支持を得る
- ジハードを開始。インティファダ(1986)
- 自爆テロが激化。(1996~2004)
- 2006年の選挙で圧勝(1回きり)、ガザを支配  
→ パレスチナ自治政府とは対立
- 世界各国でテロ組織指定(日本でも)  
→ 残忍さは、ISIS同様と明らかに



ハマスの置き土産 ISIS同様の旗

## ハマスの実態

- 世界中からの支援金で、大量の武器を購入  
→ イラン、北朝鮮、ロシアから
- 学校や病院を拠点、武器庫に。→ 人間の盾  
「ユダヤ人のミサイルを胸で受け止める」  
市街地に地下通路を張り巡らし、要塞化
- 指導者層は、カタールなど海外で豪邸に  
幹部は高級住宅街。子弟は海外留学
- 住民からの収奪、暴力的支配が日常化  
こどものキャンプで軍事訓練。憎悪を煽る



戦闘車両にユニセフの救援物資の袋が



**国連も国際社会も放置!!**

カタールの豪邸でくつろく指導者

# ハマスは、なぜテロを行うのか？

## ③資金の獲得

→世界中の支持者からの献金を得る

## ②支持の拡大

→対立する西岸地区のファタハに優位に

①ジハード(聖戦)の遂行 コーランの命令  
「不信仰者の首を打ち取れ(第47章4節)」

残虐行為をSNSに上げるのは、彼らの義





## イスラム原理主義者の論理

- 「コーランは、アッラーのツイート?!」
  - 文脈で書かれていない!!
  - 解釈は多様。真実はアッラーのみぞ知る。
- 明記された命令は、誰も文句言えない!!
  - 最たるものが、**ジハード**(聖戦)
- 現実のバランスの中での国家運営の歴史。
  - SNS時代、一信者も教理を学べる。
  - ネットで真理を知り、**ジハード**を決行!!



## 激変する中東情勢

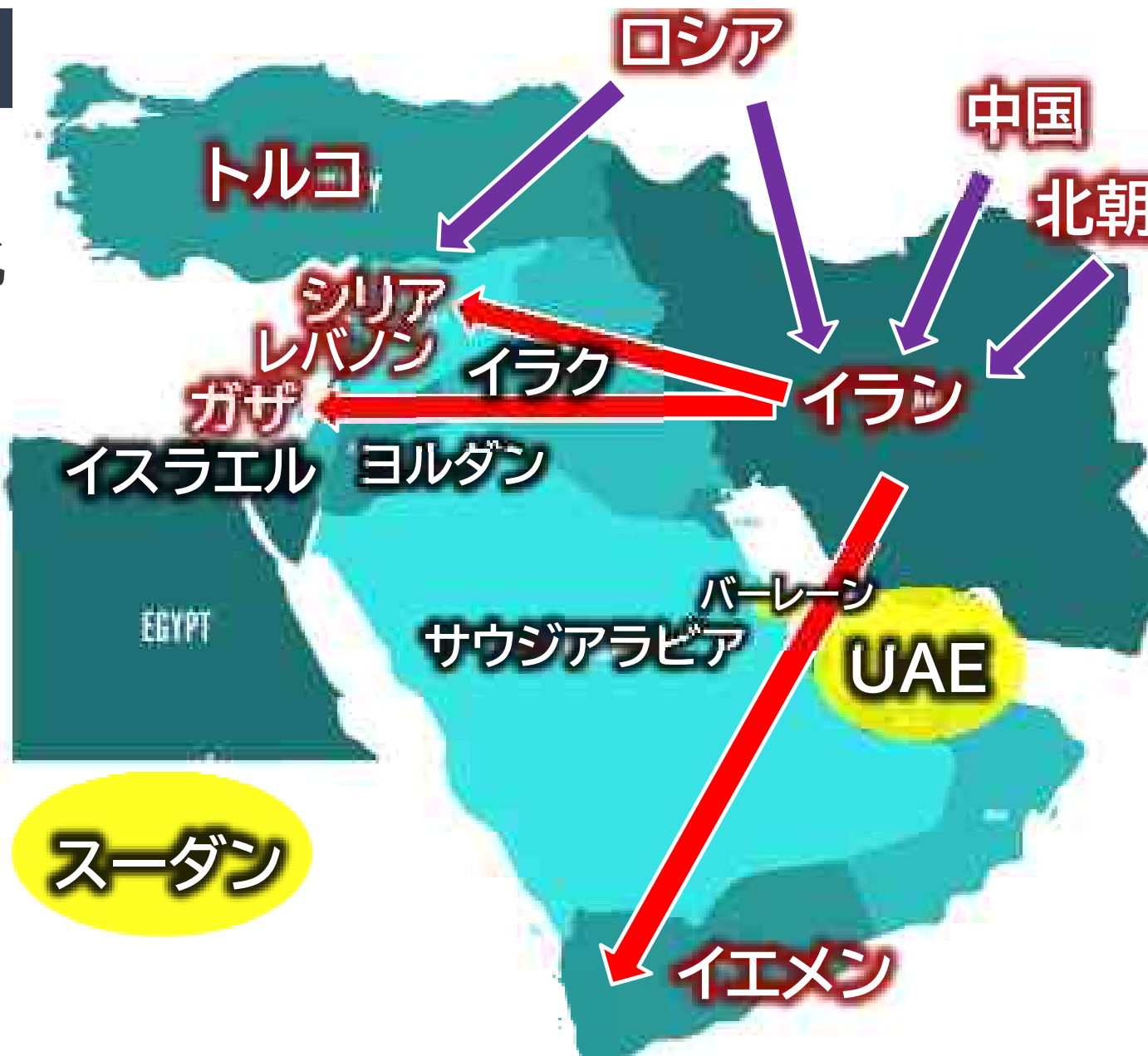
### アブラハム合意

イスラエルと国交正常化

- ・UAE
- ・バーレーン
- ・スーダン
- ・モロッコ …etc

サウジアラビアとも!?

中東諸国はイランと対立  
テロリストを警戒



# ユダヤ人とパレスチナ人の戦い？

■ イスラエルは、多民族、多宗教国家。

■ 兵役義務は、男女とも。  
アラブ人、ユダヤ人超正統派は除外。

■ ベドウィン(アラブ遊牧民・ムスリム)  
ドルーズ(アラブ少数民族)は当初から兵役に。

■ テロ被害者には、アラブ系イスラエル人も。  
IDF(国防軍)に協力するアラブ系の人々も多い。

## イスラエルの宗教分布



人口分類	割合
ユダヤ人	74.90%
アラブ人	20.70%
他	4.40%
合計	0,483,500

**排外的原理主義 VS 民主主義**

# 民主主義国家イスラエル

- 中東で唯一、言論の自由が認められた民主主義国家。
  - ➔ 厳格な三権分立。身内の戦争犯罪も厳しく裁く司法の独立性。
- 国会議員は、完全比例代表制。第一党から首相を選出。
  - …最初の選挙から、アラブ人政党も存在。
  - …史上一度も、一党で過半数を占めたことがない!!
  - 第一党の最初の仕事は、連立のための各党との折衝。
    - ➔ 少数政党がキャスティングボートを握りやすい!!
- ユダヤ人も、超正統派～超世俗派。極右～極左まで。
  - …欧州、米国、ロシア、中東、アフリカと、出身国も多様。

バラバラな国が、  
対ハマスで一致!



## II. イスラエルとパレスチナの過去

独立宣言にサインするダヴッド・ベングリオン(初代首相)

## パレスチナとは？

- 70年・ローマによるエルサレム陥落以降、パレスチナに独立国家が存在したことはない。  
→常に大国の支配下に、ローマ、東ローマ、ムスリム、トルコ…。
- 130年・ローマが、ユダヤ州をシリア・パレスチナ州と改名  
→以降、この地域が**パレスチナ**と呼ばれるように
- パレスチナの語源 →ペリシテ人…ヤペテ系(ヨーロッパ)海洋民族  
歴史の中で姿を消した。
- 現在の、「パレスチナ人」はアラブ人。→イシュマエルの子孫

**パレスチナとは、元来、地名**

## ユダヤ人の入植と共に繁栄していったパレスチナ

- 四国ほどの面積に、38万人(ユダヤ人2万人)の過疎地。
- 19世紀末～ユダヤ移民が荒野や湿地を購入して開拓。
- 耕作地が増え、流通も盛んに。  
ユダヤ移民と共に、アラブ人も流入。  
→パレスチナ全体が人口が増えた。  
アラブ人人口も建国までに4倍に
- 基本的に両者の衝突も少なく、共存共栄。



## ユダヤ人とアラブ人の衝突

■ 第一次世界大戦で、**オスマントルコ帝国が敗北!!**

➔ パレスチナは英国の委任統治下に!!

← 転換点!!

■ 千年以上ムスリムの土地だったパレスチナが異教徒の手に!!

➔ 中東を支配し、一時期は世界をリードしたイスラム文明の衰退

➔ 異教徒に奪われた土地は、**ジハード(聖戦)**の最優先の対象

■ 古い啓典の民のユダヤ移民が、ますます増加。

➔ バルフォア宣言・ユダヤ人国家建設を認めるイギリスの約束

■ アラブ人の襲撃が増加!! 反ユダヤ暴動が激化!!



## 1939年～ 第二次世界大戦とホロコースト

■ 第二次世界大戦で、パレスチナのアラブ人は**ナチス**を支持!!

➔ パレスチナ指導者ハッジ・アミン・アルフセイニが、ヒットラーの“最終解決”に賛同し、積極的に協力。

ユダヤ人殲滅のための部隊も中東で組織。テロも実施。

➔ 戦後は、パレスチナ評議会の初代議長に選出

■ アラブ人暴動の拡大を恐れた英国は、  
厳しいユダヤ人移民制限

➔ **ホロコースト**の被害増大の一因に!!

■ 多くのユダヤ人が、  
連合国側に参戦。



## 1948年 イスラエル国家建設

- 1948年、国連決議を受け、ユダヤ人国家設立。
  - ➔ 周辺のアラブ5カ国が侵攻。圧倒的戦力差。
    - 「ユダヤ人に切手一枚の土地も与えるな」
    - 「ユダヤ人をすべて地中海に追い落とせ」
- 民族存亡をかけたイスラエルが、奇跡的に勝利。中東各地のユダヤ人と、パレスチナのアラブ人、双方に数十万人の難民が発生。
  - ➔ イスラエルは同胞の難民を必死に受け入れ
  - ➔ パレスチナ難民は、周辺国に拒まれ、いまだに難民のまま。



2千年ぶりの  
国家再建

## 1967年 第三次中東戦争・建殿の丘へ

- エジプト、シリア、ヨルダンが、圧倒的な兵力を結集。
  - ➔ 先制攻撃に踏み切り、エジプト空軍を壊滅状態にシリア、ヨルダンも押し返し、勝利。

- ヨルダン占領下のエルサレム旧市街に攻め込む。
  - ➔ 神殿の丘を占領

**エルサレムを完全に取り戻した!!**

- 占領したガザと西岸地区が悩みの種に…
  - ➔ パレスチナ人としてのアイデンティティ PLOの誕生。テロの激化。



## 1973年 第四次中東戦争・ヨムキプール戦争

- 壊滅状態のエジプト軍、シリア軍に、ソ連が膨大な兵器供与。開戦の準備が進む。警告も再三 → 慢心していたイスラエル
- ヨムキプール(贖罪日)、完全に油断していた中、侵攻が開始。混乱する司令部。前線では圧倒的少数で必死に戦う兵士たち。
- 敵の戦略ミスもあり、形成を立て直し、2,656人の戦死者を出しながらも勝利。

「勝者のいない戦争」



## 和平プロセスの一方で、激化してきたテロ

- 1975年・エジプトと平和条約 → サダト大統領暗殺
- 1981年・第一レバノン戦争は泥沼に。PLOが影響力を増す。
- 1987年・第一インティファダ …ハマスの台頭はこの頃から
- 1993年・オスロ合意 → ラビン大統領暗殺(1995年)
- 2000年・キャンプ・デービッド和平会議決裂  
→ テロをやめなかったアラファト議長の一打舌
- 2005年・ガザから全面徹底 → ハマスが支配(2006年)

## 和平を拒むパレスチナの原則

### ■ 1967年・アラブ連盟

「イスラエルとは平和を結ばず、承認せず、交渉せず」

### ■ イスラエルの国家としての主権、存在そのものを認めない。

→ PLO憲章には、歴史的偽書「シオン議定書」の言及まで。

→ さらに強かにハマスに受け継がれた。

### ■ イスラエルは、すべて兵士であり、殲滅すべき敵。

→ ガザ市民への電力、水道の供給、職の斡旋…。

→ 融和策は、真逆の結果に!! これまでの和平プロセス同様に!!

**平和向かうと、テロが激化する 今回も同様!!**

# シオニズムは植民地主義？

- ① 宗主国が別にある
  - イスラエルに宗主国はない
- ② 入植した土地と歴史的関係がない
  - ユダヤ人が最も古い歴史
- ③ 入植地を搾取し、宗主国に持ち帰る
  - 入植からイスラエル独立までにアラブ人人口は、4倍に増加
  - 雇用は10倍、資本投資は100倍
  - 経済的恩恵は現地に



中東にも世界中にも恩恵をもたらした灌漑技術



# イスラエルがパレスチナ人の土地を奪ってきた？

購入した地を開拓



英国委任統治領のユダヤ人入植地の一部だけ記載



南部は砂漠  
提案を拒否  
ヨルダンが支配



帰属が定まってるない！





### III. イスラエルとパレスチナの未来と私たちの希望

テルアビブとヤッフォ

## 国連という「不条理の演劇」

「もしアルジェリアが、地球が平らで、平らにしたのはイスラエルだと宣言する決議案を提出したら、160対13、棄権26で採択されるだろう」  
アバ・エバン(駐米大使を歴任)

- 1975年国連総会…シオニズムを人種主義と糾弾決議(1991年撤回)
- 2003～2012年で、イスラエルに関する314の決議が!! →40%  
国連人権理事会の43の決議がイスラエル非難決議 →42%
- 国連加盟193カ国で、民主体制を敷くのは80カ国未満。  
国連のパレスチナ難民救済機関の職員はほとんどパレスチナ人。

## 反ユダヤ主義の歴史

- エジプト王パロによるイスラエル男子殺害命令。
- バビロニアによるエルサレム陥落・バビロン捕囚。
- ローマによるエルサレム陥落。
- 世界各地でのユダヤ人迫害
  - ナチスのホロコースト、ロシアのポグロム、
  - パレスチナによるテロ、国連の常軌を逸した非難…etc

**なぜ、イスラエルは、こんなにも憎まれるのか？**

**背後に働いているのは、神に敵対するサタン**

## サタンがイスラエルを攻撃する理由

### ①イスラエルから、メシアが誕生

→イスラエルを滅ぼし、メシア誕生を阻止しよう!!

### ②イスラエルのメシア・イエスの十字架の贖いが、サタンに勝利

→イエスの十字架を妨害!! …荒野の誘惑、ユダの裏切りetc

### ③イスラエルが悔い改めたとき、メシアが再臨し、悪を裁く。

→イスラエルの悔い改めを邪魔し、イスラエルを滅ぼそう!!

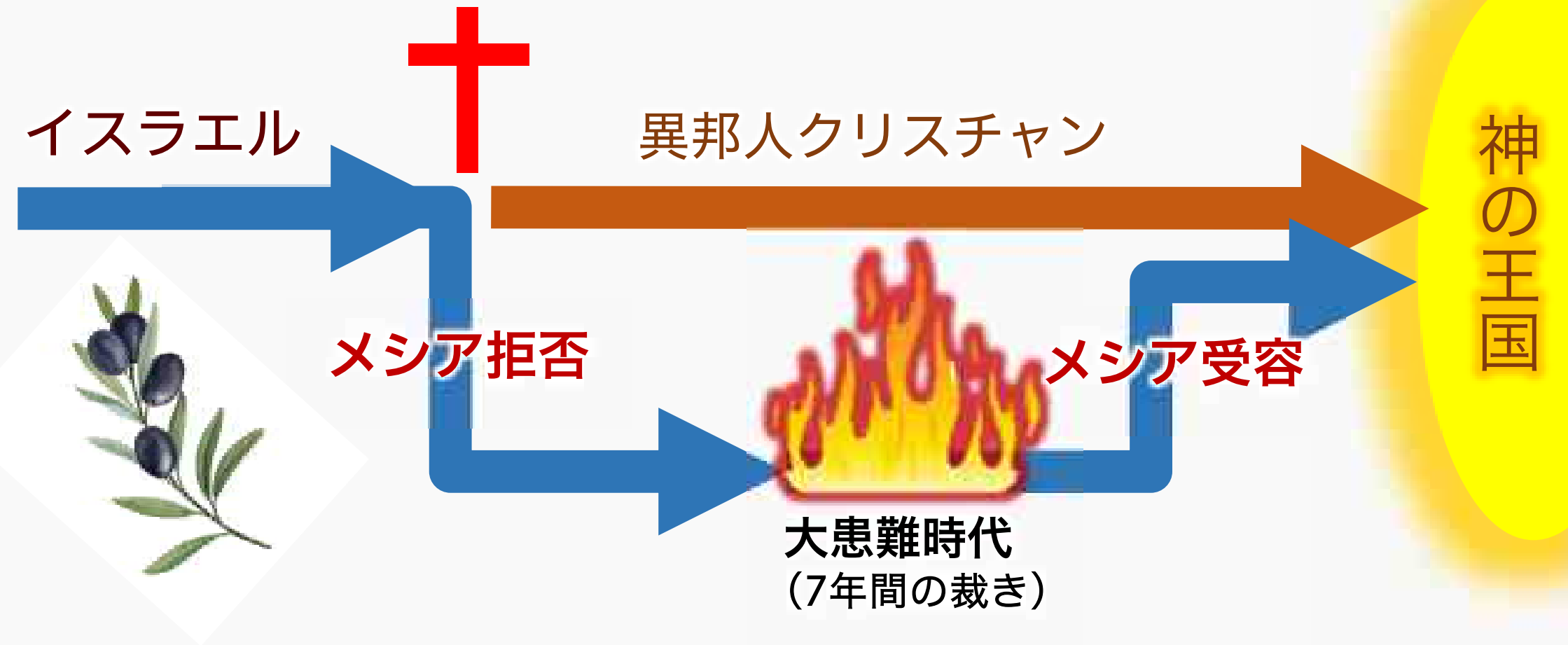
神の世界回復・人類救済の計画の中心が、イスラエル!!

## イスラエルとハマスの戦争のこれからを考える

- テロを断つべく、今度こそハマスを壊滅に全力を注ぐイスラエル  
→ どんなに慎重でも、地上戦に突入すれば被害者の増加は必至
- 「世界は弱いユダヤ人には同情するが、強いユダヤ人は嫌悪する」  
→ 反ユダヤ主義が、世界中で強まるだろう
- おもな中東諸国は、テロへの厳然たる対応に距離を縮めるだろう。
- イランと全面戦争になれば、世界大戦の引き金にも…。  
中国、北朝鮮が連動すれば、東アジアにも飛び火しかねない。  
→ 世界大戦を引き起こした国と非難されるのはイスラエル

# イスラエルの救いの計画

メシアを拒んだイスラエルの民族的回心の時が来る!!



# イスラエルに対する神の救いの計画

## ■ローマ人への手紙11:25～26

「イスラエル人の一部が頑なになったのは  
異邦人の満ちる時が来るまでであり、  
こうして、イスラエルはみな救われるのです。」

# 神の計画・これから起きること

携挙は、いつ起こるか分からない

① 世界大戦  
(ホロコースト)

1914~

地震の激増

② イスラエル建国  
(不信仰なままの帰還)

1948

③ エルサレム支配  
(旧市街占領)

1967

(イスラエルの  
表面的な平和と繁栄  
世界中で募る敵対心)

④ 北方からの侵略

⑤ 世界統治機構

⑥ 反キリストと  
平和条約

大患難時代  
(7年間の裁き)

イスラエルの回心

キリストの再臨

千年王国





## 北の諸国の侵略

## エゼキエル書38章

### ■ 侵略者たち

メシエク、トバル、マゴグ…現在のロシア南部  
ペルシア(イラン)、クシュ(エチオピア?シリア?)、プテ(ソマリア?)、ゴメル(ドイツ?) ベテ・トガルマ(アルメニア?)

→ポイントは、中東のアラブ諸国が含まれていないこと

■ 平和と繁栄を享受していたイスラエルに空前の規模の軍隊が!!

→神が、超自然的な介入によって撃退。

→敵の残骸の処理に7年、死者の埋葬に7ヶ月かかるほど

■ 大患難時代の3年半までに起こる?! →携拳の前か?後か?

## 不信仰なままの帰還

ゼパニヤ書2:1~2

「ともに集まれ、集まれ。恥知らずの国民よ\*。御定めが行われて、その日が粃殻のように過ぎ去らないうちに。

【主】の燃える怒り\*が、まだあなたがたを襲わないうちに。

【主】の怒りの日\*が、まだあなたがたを襲わないうちに」

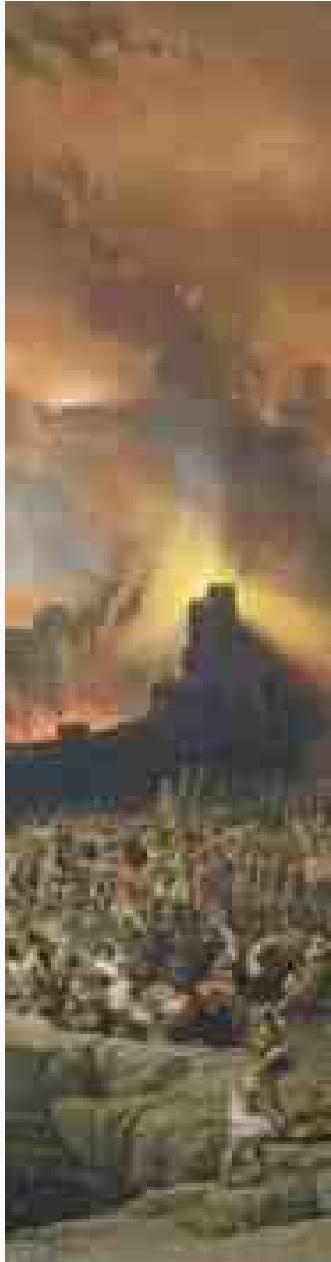
\*不信仰なままのイスラエルの帰還を示す。

→近代イスラエル建国の立役者の多くは社会主義者  
正統派はメシアニックジューを迫害。無神論も多い。

\*主の燃える怒り、主の怒りの日 …**大患難時代**のこと

→主の怒りの日は、第一に、イスラエルへの裁きの時

→**反キリスト**とイスラエルの契約が始まりに



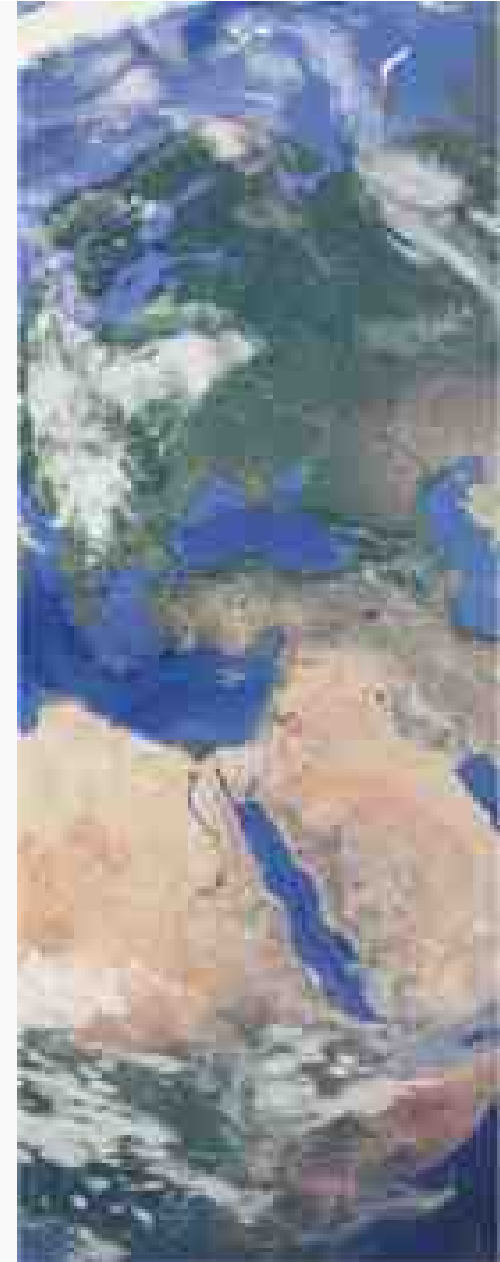
## 回心後の最終的帰還

イザヤ書11:10～

その日になると、**エッサイの根\***はもろもろの民の旗として立ち、国々は**彼**を求め、**彼**のとどまるところは栄光に輝く。その日、**主は再び御手を伸ばし\***、ご自分の民の残りの者を買取られる。彼らは、アッシリア、エジプト、パテロス、クシュ、エラム、シンアル、ハマテ、海の島々に残っている者たちである。主は国々のために旗を揚げ、イスラエルの散らされた者を取り集め、ユダの追い散らされた者を地の四隅から集められる。

**\*エッサイの根** …メシア。再臨される主イエス。

**\*再臨された主イエスが**、すべてのイスラエルの民を世界中から、再建されたエルサレムに**集められる**。



## メシアがもたらす平和の結末

イザヤ書19:23~25

その日、**エジプト**から**アッシリア**への大路ができ、アッシリア人はエジプトに、エジプト人はアッシリアに行き、エジプト人はアッシリア人とともに主に仕える。

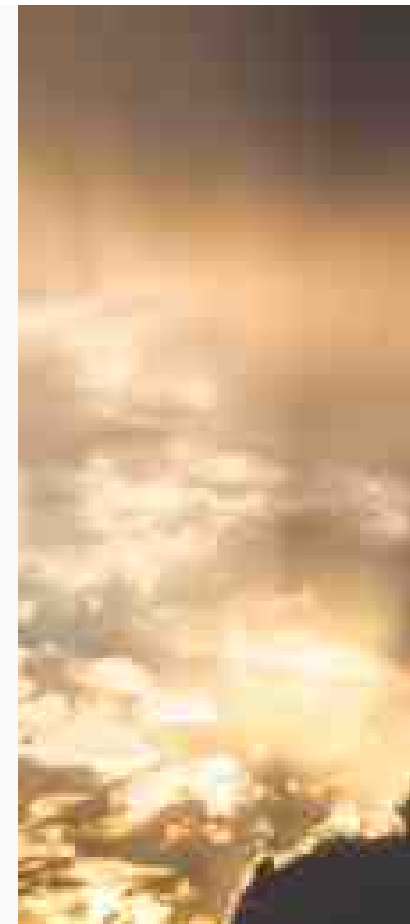
その日、**イスラエル**は**エジプト**と**アッシリア**と並ぶ第三のものとなり、大地の真ん中で祝福を受ける。

万軍の【主】は祝福して言われる。「わたしの民エジプト、わたしの手で造ったアッシリア、わたしのゆずりの民イスラエルに祝福があるように。」

■イスラエル、エジプトとアッシリア。

三者の間に、メシアが永遠の平和を立てられる。

イスラエル  
パレスチナにも  
神の平和が!!



## 聖書から落ち着いて今の時代を見つめていよう

「黙示録7:1 その後、私は四人の御使いを見た。彼らは地の四隅に立ち、地の四方の風をしっかりと押さえて、地にも海にもどんな木にも吹きつけないようにしていた。」

- 大患難時代前半の記述。最終的な裁きの災いをとどめる天使の姿。
- 今の時代、悪の力は神が制限され、最悪の災いは止められている。  
張り詰めた綱引きは、携拳を引き金に、ぷつんと切れる。  
→携拳後、あっという間に世界は終末になだれ込んで行くだろう

## 主の約束の平安をもって今を歩もう

### ■テサロニケ人への手紙第一5:3~4

人々が「平和だ、安全だ」と言っているとき、妊婦に産みの苦しみが臨むように、突然の破滅が彼らを襲います。それを逃れることは決してできません。

しかし、兄弟たち。あなたがたは暗闇の中にいないので、その日が盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。」

**大患難の最悪の裁きから信仰者は守られる**

## ★ 私たち信仰者に求められる決断の時 ★

- イスラエルは勝利し、繁栄と平和を享受するだろう。  
一方で、反ユダヤ主義もかつてないほど高まっていくだろう。
- 光と闇との対立は、ますます深まり、鮮明にされていくだろう。  
どちらに立つのか。信仰者一人一人がますます求められて行く。
- 私たちが、常に第一に祈るべきことは、福音による救いと栄光。  
一人のユダヤ人と一人の異邦人の救いのために、学び、祈り、  
遣わされ続けて行こう。御国の先取りとしての証しを立てていこう。

**福音を告げ 身をもって主を証しする 使命に歩み続けよう**

## イスラエルに対する神の救いの計画

### ■ マタイ福音書28:17~20

「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。

ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子と  
しなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授  
け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守  
るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつ  
もあなたがたとともにいます。」

**携挙の瞬間まで、主イエスの使命に遣わされ用いられ続けよう**



てん とう つみ  
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ  
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ  
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

あい まも  
あなたの愛するイスラエルをお守りください。

ぜつぼうてき きょくげんじょうたい しゅ さいぜん えら と ちせい たも  
絶望的な極限状態で、主の最善を選び取る知性を保たせてください。

ひとり じん いほうじん すく わたし つか  
一人のユダヤ人と異邦人の救いのために私を遣わしてください。

みもと あ しゅんかん しゅ ちゅうじつ あゆ  
御許に挙げられるその瞬間まで、主に忠実に歩ませてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」